

会 議 録

会 議 の 名 称	第 3 回 本 荘 地 域 協 議 会
開 催 日 時	平成 18 年 1 月 27 日 (金) 午 後 1 時 00 分 (～ 5 時 00 分)
開 催 場 所	本 荘 由 利 広 域 行 政 セ ン タ ー 学 習 ホ ー ル 」 (3 階)
出 席 者 氏 名	出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	出席者名簿」のとおり
会 議 次 第 1. 開 会 2. 委 嘱 状 交 付 3. 挨 拶 区 長 挨 拶 会 長 挨 拶 4. 意 見 聴 取 ① 由 利 本 荘 市 総 合 発 展 計 画 基 本 計 画 (案) に つ い て ② 由 利 本 荘 市 国 土 利 用 計 画 (案) に つ い て 5. 連 絡 事 項 に つ い て 6. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

会議の経過

第3回 本荘地域協議会

平成18年1月27日（金）

午後1時00分 開会

午後5時00分 閉会

1. 開 会

2. 委嘱状交付

市議会議員の辞任に伴い、本荘由利森林組合本荘地区理事 田口靖夫氏並びに本荘体育協会会長 武田三芳氏の2名の委員補充をしたことを事務局(振興課)から報告後、辞令交付。

(市議会議員がオブザーバーとして出席の理由を企画調整部から説明。)

3. 挨 拶

区長挨拶

会長挨拶

(会の進め方についての事前説明)

・事前のアンケート結果に基づき、「全体会」で進めることを説明、確認。

4. 意見聴取（ゴシック部：委員からの意見、質問等）

・挨拶（猿田企画調整部長）

・「総合発展計画(案)」及び「国土利用計画(案)」策定フローチャートについて説明（渡部企画調整課長）

・基本計画(案)説明（渡部企画調整課長）

①由利本荘市総合発展計画 基本計画(案)について

○「総 論」

・委員… P20に地域振興基金を設置します、という記述があるが基本構想には上がっていない。

・猿田企画調整部長（回答）

たしかに地域振興基金という文言は基本構想に載っていませんが、おおまかにですが、地域の特性を活かしながら共通の理念をそれぞれ尊重する、地域の一体化を図るための事業を展開する、個々の独自の文化をそれぞれ認め合い市民が心をつにしてコミュニティ活動等を推進する、というような表現をさせていただいています。その中で基本計画に移行した時点でこういう形で固有名詞として載せさせていただいたということです。

・委員…基本構想 P7 施策の大綱 I. 「地域に開かれた住民自治のまちづ

くり」の項を受けて基本計画総論の中で「地域振興基金」が出てくる訳ですから当然基本構想の部分に入っていないのはおかしいことだと思います。

つまり、基本構想「施策の大綱」のうち、

Ⅱ.「活力とにぎわいのあるまちづくり」 に記述されている林業、漁業、就労。

Ⅲ.「健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり」に記述されている、保健師や栄養士など保健専門職員の確保や人材育成について。

Ⅴ.「豊かな心と文化を育むまちづくり」に記述されている、情報化、国際化に対応した教育環境の充実や地域連携型の複合教育ゾーンの整備。

などが基本計画の総論では記述されていない。基本構想に記述していたものは基本計画の総論に記述するべきだと思いますので検討をお願いします。また、基本計画において構想と全く同じ文章が出てくるが、構想から計画に載せる段階で具体的な計画となっているべきと思う。

「て、に、を、は」についても改めて確認をお願いしたい。

・猿田企画調整部長（回答）

ほかの地域の協議会でも文章の表現などいろいろご指摘いただいておりますので、これらを総括してまとめ、各地域皆さんの声を文面に表せるように修正して審査会に諮りたいと思います。

○「Ⅰ. 地域に開かれた住民自治のまちづくり」

・委員…地域コミュニティ意識の希薄には少子高齢化、職住分離の生活状況など社会的、経済的背景や青年会や婦人会の弱体化などの理由が上げられるが、それぞれの地域の町内や自治組織の現状を見極めた上で、行政が支援していくことが大切だと思う。

・猿田企画調整部長（回答）

これまでも、各地域ごとに自主的なコミュニティ活動への助成は行われていたが、全市で統一した要項で誰でもが取り組んでいけるようなコミュニティ活動や自治会活動への助成を新年度より提供できるよう準備中です。新しい助成制度により地域の住民自治組織の強化に努めてまいります。

・委員…合併前の広報に比べ記事の内容が身近に感じられない。もっと各地域の話題を紙面を増やして掲載していただきたい。

・委員…地域が広くなり親しみの持てない広報になっている。例えば月2回発行しているうち1回を各地域版などにはいかがか。

・猿田企画調整部長（回答）

他の地域でも同様の意見を伺っております。現在は月2回で20ページ程度の紙面で構成していますが、今後地域の皆さんから関心を持っていただける紙面づくりを目指し検討させていただきます。

・委員…行政運営のためには財源の確保が必要であり、市税の完納や納税思想の高揚などの市民一人ひとりの心がけが重要であることから、それらの文言を「3. 住民と行政の協働によるまちづくりの推進」の中に加えてほしい。

・猿田企画調整部長（回答）

提案いただいた文言について加えることが可能か検討してまいります。

- ・委員…地域の住民自治組織の強化と住民の行政への協力によるまちづくりが必要である。

NPO、ボランティアの位置づけと町内会との関係をどのように見ているのか。今後、戸数の減少などにより町内運営は困難になっていくと思われ、等しく行政サービスを提供するためには適正規模の町内会への再編成も必要かと感じる。

- ・猿田企画調整部長（回答）

自発的に活動している団体からの課題、問題点、思いを行政へ提案していただく組織をNPO、ボランティア組織と位置づけ、この地域に欠けているNPO、ボランティア組織の活動育成を行っていきたい。

適正規模の自治会の再編については、行政が介入することは慎まなければならないが自治会の連携については行政として相談に応じ将来のあり方について検討しなければならないものと思います。

○「Ⅱ. 活力とにぎわいのあるまちづくり」

- ・委員…由利本荘市の農業振興のため「集落営農充実確保緊急支援事業」の推進を図ることを具体的に強調する必要があると思われる。

- ・小松農林水産部長（回答）

「担い手経営安定対策」という制度が平成19年度からスタートすることから今年度よりすでに事務作業を進めている段階であります。P38の担い手の育成の施策の中でこの件についてとらえておりますが、国の施策である「集落営農充実確保緊急支援事業」というそのままの名称を市の施策の名称とするかどうかは検討させていただきたいと思います。これから10年間の計画でありますので、単年度の予算の方向だけで標記して良いのかについては担当と相談させていただきます。

- ・委員…産地流通について、由利ばら部会は産地ブランドとして市場に評価されているが、流通経路が空路のみのため陸路などの新たな流通経路の開発が求められる。

観光農園を経営する立場から農業特産品がもっとあれば観光客により一層PRができるのではないかと思います。本荘由利は米が主な生産物なので米を活かした特産品(ブランド品)の開発ができないものか。

- ・小松農林水産部長（回答）

現場サイドからのご意見として承ります。市内各地域の特産品や物産品を紹介しあうことも必要かと思えます。

- ・委員…産学官民の連携として、新技術・新製品の開発から商品化までは多大な時間と投資(資金)を必要とするため、官からの支援が欠かせないものとなる。

- ・藤原商工観光部長（回答）

市でも企業誘致の売りとして産学共同研究センターを位置づけており、センターを理解して活用していただけるように各企業などに連携をお願いしているところであります。

- ・委員…これからの若者のために、農林水産業、商工業、観光などの振興、雇用の安定等を取り入れたまちづくりをすれば担い手の確保、Uターンを希望する若者にとって心強いだろうし工業団地に会社・企業を誘致することにより、希望のもてる由利本荘市発展につながると考える。

- ・猿田企画調整部長（回答）
地元の情報を行政が率先して皆さまにお知らせして、知らない部分で埋没させないように関係部局と調整してまいります。
- 「Ⅲ. 健やかさとやさしさあふれる健康福祉のまちづくり」
 - ・委員…組合病院跡地と国療跡地への福祉施設の設置と早期開発。高齢者の生活環境整備のための「自然と緑を守る」施策にも力をいれてほしい。
今後高齢化、しかも一人暮らしや高齢核家族の増加が懸念されることから、在宅医療などの更なる整備が必要である。
 - ・豊島福祉保健部長（回答）
現在、在宅医療は行きとどいていないのが実情ですが、在宅介護等も併せて在宅福祉サービスの充実を図ってまいります。
 - ・委員…介護保険制度などについて説明会など開催してより多くの市民に理解してもらえるようにした方がよい。
保育園の一覧表しか載っていないようだが、幼稚園も載せるべきではないか。
保育料の軽減だけでなく幼稚園に対しても同様に補助するべきである。
子育て支援に関しては、市役所の各部署が横の連携をとり市民が本当に望む支援を行ってほしい。
学童保育のニーズは年々高まっている。子供達が地域の中で安全に遊べる児童館など福祉だけでなく、教育委員会とも連携をとった施策がほしい。
 - ・豊島福祉保健部長（回答）
介護保険制度に関してはその都度説明してまいります。
幼稚園の名称掲載については編集担当と協議してまいります。
市内全地域での学童保育施設の整備と体制充実を図れるよう関係部署と調整してまいります。
- 「Ⅳ. 恵まれた自然とやすらぎのある環境共生のまちづくり」
 - ・委員…景観、歴史、風土を重視した住環境も重要であるが、活断層上にのっている本市は地震等の防災対策に対応した住宅づくりも必要と考えます。
市のハザードマップを参考にした地震、津波等の災害からの避難行動は、個人の居住条件などにより様々であることから、その避難方法等について啓発や指導(特に高齢者)が必要である。
 - ・松山市民環境部長（回答）
活断層については専門的なことも必要ですので「地域防災計画」を示しながら住民の皆さんにご説明したいと思います。
避難訓練等については、日頃の訓練・指導をねばり強く実施してまいります。
 - ・委員…高齢化が進み、交通事故の加害者・被害者とも高齢者という状況が今後増えると思われるため、交通安全の啓蒙を全市で推進してほしい。
 - ・松山市民環境部長（回答）
あらゆる機関をとおして啓発活動に努めてまいります。
 - ・委員…近年の大型店の進出により、大型の駐車場や24時間営業が当たり

前になり環境の悪化が見受けられるため、青少年の健全育成、防犯と住民の健康を守るための施策がほしい。

・猿田企画調整部長（回答）

大型店の立地については、その時代の法律をクリアして認可を受け設置されたものですが、設置後の地域との関わりが重要かと思いますので、その都度店舗側とお話をさせていただきます。

・委員…不景気の時こそ、行政が音頭をとって、イベント等を継続的に行ってほしい。「由利牛」や「鳥海山の水」など物産品の情報の発信(どこに行けば買えるのか)はどうしているのか。

・猿田企画調整部長（回答）

今後も民間から様々な面からご支援をいただき、行政と連携して市民のみなさんと密着した楽しいイベントの形成に努めたい。これまで各地域ではそれぞれのイベントが行われてきたわけで、それらの効果的な精査、統合など必要となってくると思われますが、そういった全体の論議は今後の観光振興計画等で論議されるべき問題だと思います。

○「V. 豊かな心と文化を育むまちづくり」

・委員…児童数の減少により複式学級が考えられるが、学力向上の面などから学区再編や小学校統合など、今後どう考えているか。

・中村教育次長（回答）

平成23年度には現在より児童数が約300人減少すると予想され、北内越小は平成18年度から複式学級、市内ではもう3校複式学級になると思われる。市では平成18年度から検討委員会を設置し、地域の事情や保護者の意見をふまえ、学区再編や小学校統合等について取組んでいきたい。

・委員…幼保一体について、もっと詳しく明記をお願いしたい。

幼児教育については生涯学習も関わることなので記載してほしい。

生涯学習の取り組みに家庭教育も記載してほしい。

地域体育館の建設が平成20年度から計画されているが、アクセス道路も整備した各種競技ができる体育館を整備してほしい。

・中村教育次長

（幼保一体）去年幼保小の連携研修会を開催し、お互いに情報交換ができたので今後も続けたい。

（家庭教育、生涯学習）検討させていただきたい。

（体育館）建設にむけて体育協会等と協議しながら進めていきたい。

その他、文言については担当課と協議したい。

○「VI. 心ふれあう情報と交流のまちづくり」

・委員…通学路の歩道や危険箇所の整備、街灯の設置をお願いしたい。

・佐々木建設部長（回答）

未整備な部分もあるが、今後整備に取り組んでいきたい。

・委員…CATV等の高度通信基盤の整備状況について

・猿田企画調整部長（回答）

CATV整備事業は平成21年度完成予定で約100億円の事業費を見込んでいる。整備により地域間の情報網格差是正と防災・福祉等の情報提供、テレビの難視聴対策、高速インターネット通信が可能となる。今後も市民の皆

さまのご理解をいただきながら事業を進めていきたい。

- ・委員…P82「家庭や職場における男女の役割を固定的に考える意識を見直す」とあるが、この地域にあった表現にしてほしい。

P83にある男女共同参画懇談会の構成メンバーは？

- ・猿田企画調整部長（回答）

文章表現について、もう少し検討したい。男女共同参画懇談会は各地域から年齢職業問わず推薦された方々で構成されている。男女構成半々である。男女共同参画計画の審議等をお願いしている。

○「Ⅶ. 行財政改革による健全なまちづくり」
（特に意見なし）

○基本計画全体を通しての意見等

- ・委員…P34「住民自治組織への行政事務の委託」とあるが、具体的にはどのようなことか。

- ・猿田企画調整部長（回答）

行政事務の委託とは公共施設の管理など住民が身近にできることと理解してほしい。

- ・委員…携帯電話の不感地域はどのくらいあるのか。

- ・猿田企画調整部長（回答）

中山間地域に不感地域は相当数あるが、事業者の参入は相当厳しい。秋田県では独自の事業があるので、今後要望していきたい。

- ・委員…計画の中で使われている「市民」と「住民」、「推進」と「促進」の違いを説明願いたい。

- ・渡部企画調整課長（回答）

全体的には市民と使っているが、文章の流れの中で住民と記載しているところもある。市が主体的に行うものは推進、国・県・住民等が行う行政主導でないものは促進を使っている。今後、文言整理を行いたい。

- ・委員…市民の代表は市長、住民の代表は町内会長だと思うが、区別が難しい。

合併して由利本荘市が誕生したが、各地域によって意見が異なるため、各地域協議会で意見を交わすことも必要だと思う。

林業の振興で秋田杉材の生産に努めるとあるが、採算が取れるものなのか。産学共同研究センターがあるが、起業に結びついているか。

- ・小松農林水産部長（回答）

杉材の利用は低迷していて、以前は50年から60年が伐期となっていたが現在は80年から90年となっている。

- ・藤原商工観光部長（回答）

県立大学と産学共同研究センターがあるからすぐに、起業あるいは企業誘致とはならないが、興味をしめしているところもあるので、市としてアピールしていきたい。

- ・委員…観光の分野について、情報を発信するという項目が少ないと思う。

- ・猿田企画調整部長（回答）

商工観光部と表現について検討したい。

- ・委員…刺し子やごてんまりが市のお土産として、道の駅等で販売できるようにお願いしたい。
- ・猿田企画調整部長（回答）
販売ルートの確立や、お土産としてのピーアール活動を展開していきたい。
- ・委員…合併して重要なのは住民意識を変えることである。計画書に記載されていることは合併前からあるもの。自分は町内会長として住民意識を高め、みんなで計画が達成できるようにかんばっていきたい。

計画書の出来はまずまずだと思う。しかし、委員の出席が少ないのが残念だ。

P35の「住民自治のまちづくりのための仕組み（イメージ図）」があるが、具現化していくのが重要だと思う。合併1年目の地域協議会は、市民の代表として審議会的な役割を果たしているが、本来は「住民自治のまちづくり」の中核的な存在であると思う。ボランティアやNPOの育成、支援のため、行政が「ソフト」や「場」を作っていくことが今後必要であり、イメージ図のままで終わらせないようにしてほしい。

総合発展計画は80点だと思うが、観光や賑わいの記述において、素晴らしい自然に恵まれているということだけでなく、「ほかとはここが違う魅力なのだ」というような付加価値が与えられていないのでインパクトに欠けた計画になっていると思う。

②由利本荘市国土利用計画(案)について

- ・国土利用計画(案)説明（渡部企画調整課長）
- ・委員…鳥海ダムの「整備」との文言であるが、「建設」にしてはどうか。
- ・渡部企画調整課長（回答）
修正します。
- ・委員…水面に田んぼは含まれるのか。田んぼにも貯水機能があると思う。
- ・渡部企画調整課長（回答）
農用地に含まれる。